



金屋町通信

発行元：

金屋町まちづくり協議会

発行責任者：般若陽子

編集責任者：般若慎一郎

高岡市の観光大使キャラクター「あみたん娘」の誕生1周年記念フェスタが行われ、昨年春にあみたん娘の発表記念企画として作者の松原秀典さん（高岡工芸高校卒の超人気アニメーター）の作品展が高岡市美術館で開催され見に行ったことを思い出した。実は松原さんのことも彼の人気作品「エヴァンゲリオン」のことも何も知らずに行ったのですが、会場が朝から若者たちでいっぱいなのにびっくりしたものです。高岡大仏をモチーフにしたこの架空のキャラクターを使って、今度は小説を作るそうです。高岡市を全国の若者に発信する強力なツールとして、とても楽しみに感じます。

鋳物資料館が再オープン

リニューアルオープン記念企画展を開催中



人間国宝 金森映井智さんの仕事を再現した

3月20日、およそ3ヶ月ぶりに高岡市鋳物資料館が開館しました。石畳通りに面した第2展示室を大幅にリニューアルし、展示品を絞り込みました。壁面に窓のような展示ケースを設置し、スポットライトを多数配置して、見違えるようになっています。

3つの展示室を結ぶ連絡通路に屋根を設置したことで、中庭らしい雰囲気になりました。

人間国宝の彫金作家である故金森映井智さんの作品の鋳造を、現代の人間国宝である大澤光民さんが依頼を受けて行なっていたということをご存知でしょうか。金森さんのデザインを基に大澤さんが作った石膏原型を数点、焼型や作品写真と対比して展示しています。また金森映井智さんや大澤光民さんの作品も展示して、5月10日まで、

オープン記念企画展を開催中です。

また第3展示室では全国の重伝建保存地区の写真を多数展示しています。ぜひ見いらしてください。

**3・11～2周年を迎えて
有磯正八幡宮にて**

東日本復興祈願祭

東日本大震災から2周年の前日にあたる2月10日、有磯正八幡宮において主題の祈願祭が行われました。これは富山県神社庁高岡新湊支部が主催し、昨年行ったもので、神社関係者の他地域住民などおよそ100人が参加して慰霊の祈りを捧げました。



午後5時から境内に設置された祭壇の前で「慰霊・鎮魂（いれい・みたましずめ）」として、「大祓詞（おおはらえのことば）」を何回も繰り返して奏上しながら、各神社に1本100円で奉納された「きずな木札」およそ2,800本が浄火でお焚き上げされました。

午後5時40分頃から社殿において「復興への祈り」として、神事と共に舞楽「蘭陵王」が奉納されました。蘭陵王は「没日還午楽（ぼつじつかんごらく）」の別名があり、沈みかけた太陽を真昼の勢いに戻す祈りがこめられているそうです。

当日はとても寒い日で、午後5時から境内で30分余り立ち、その後寒い社殿で約1時間ほど座っていたので、手がかじかみ体は凍える思いでしたが、とても後味が爽やかなイベントでした。

インカ帝国展

富山市の県民会館で開催中のインカ帝国展を見ってきました。これはペルーの空中都市遺跡マチュピチュ発見100年を記念してTBSテレビが企画制作し、昨年3月の東京を皮切りに約2年かけて全国を巡回している展示会です。

土器、金属製品、織物、人骨、ミイラ、絵画など多数が展示されていますが、マチュピチュの空を飛ぶような3D映像が、私には最も印象的でした。



インカ帝国は、15世紀前半から16世紀前半にかけて繁栄した南米最大にしてアンデス文明最後の国家。国家としてのインカは、1533年のスペイン人による「最後の皇帝」アタワルパの処刑をもって終わった。

1911年7月24日米国人探検家ハイラム・ビンガムは、マチュピチュを「発見」した。

空中都市とも称されるマチュピチュは一体誰が何のために建設したのか。インカには車輪も文字も鉄器もなかった。にもかかわらず、なぜ多数の巨大建築物を擁する大文明を短期間に築くこと

ができたのか。なぜそれほどの高度な文明が、一握りのスペイン人の侵略の前にあっけなく敗北したのか。謎だらけで、とても神秘的です。富山会場は4月7日までです。

＊ ＊ 自治会からお知らせ ＊ ＊

2月24日の自治会拡大会議において以下のような報告事項などがありました。

・**重伝建選定に伴う防火対策**について、市の文化財課から説明と協力要請がありました。瑞龍寺や山町筋では既に実施しているが、年1回の国の文化財防火デーに合わせ今年から金屋町でも防火訓練を実施することになります。

・高岡市消防本部より高岡市防火・防災マイタウン事業について説明がありました。**自衛消防隊の組織作りと訓練**を今後実施することになります。

・西部中学校前に建設中の**西条公民館**が4月19日に**開館**します。

・**婦人会役員が交代**しました、以下は新役員。婦人会長=関弘子、同副会長=小林薫苗（いずれも旧宮川町）。

・昨年の豪雨水害の反省から市の助成金制度を利用してポンプなどの防災用具を購入し、旧宮川町（八番街）の小公園に収納庫を設置しました。

・**路面電車と都市の未来を考える会**～ラクダ高岡の善光孝さんから、万葉線の路面電車を金屋町へ更には波岡まで延伸するという計画提案がありました。路面電車が都市を明るくし、住み易い町を作る。環境に配慮し人口を増加をもたらす等、熱く語られましたが、皆様はいかがお思いでしょうか。

訂正とお詫び

先月号の川崎市の紹介記事の中で「川崎病」という言葉を誤って使ってしまいました。川崎病はおもに乳幼児にかかる原因不明の急性熱性発疹性疾患で、発見者の川崎医師にちなんで命名されたものであり、川崎市や川崎公害とは無関係です。お詫びします。